

平成30年度

「特別支援学校に在籍する児童・生徒の理解教育充実事業」

報告書

<交流協力校>

北区立十条富士見中学校

順天中学校・高等学校

東京成徳大学

<地域推進校>

東京都立王子特別支援学校

はじめに

東京都立王子特別支援学校
校長 下島 啓道

スポーツや芸術の世界で障害を乗り越えて活躍する人たちが増えてきました。それが障害のある人の理解につながっていることは間違いありませんが、しかしまだ、障害のある人が地域の中で働き生活していこうとすると様々な思い違いに直面するものです。こうしたことを少なくしていくために、学校を通しての交流教育は大変重要です。

今年度も、北区立十条富士見中学校はじめ、多くの学校と交流ができたことは大変有意義でした。PTA の皆さん同士の交流もよい機会が得られたと聞いております。

また、都立練馬特別支援学校で行われた部活動発表会での都立石神井高等学校の生徒との交流も素晴らしいものでした。体育館の中で、音楽やダンスを通して自分たちの演技を思い切り発表しあいました。生徒通しの絆も深まったのではないかと思います。順天高等学校や東京成徳大学の学生には夏祭りや文化祭でボランティアとして活躍していただきました。ありがとうございました。

内容を工夫して行えば、短時間の交流であっても、お互いに実りの多い機会にできるものです。学校としても地域に貢献できる機会を考えていきたいと思っております。来年も継続して皆様のご協力をお願い申し上げます。

交流協力校との交流 1

<十条富士見中学校>

「学校交流を通して」

北区立十条富士見中学校
校長 高木 潤也

平成 30 年度は、本校創立 10 周年記念の年でした。記念式典には下島啓道校長先生、PTA 会長様にもご臨席賜り、盛大に式典を挙行することができました。改めて感謝申し上げます。

今年度も、生徒会や PTA を中心に様々な交流活動を実施させていただきました。本校生徒会が夏祭りに参加し、両校の生徒が共同でゲームコーナーを運営しました。また、部活動では合同練習などの活動を行うこともできました。

PTA 活動では、合同で手芸教室を実施し、制作した作品をそれぞれの文化祭で展示しました。毎年 of 交流の中で築きあげられた良い関係のもと、和やかに交流活動が行われました。

1 月には文化祭で学年劇を拝見しました。歌ありダンスありでとても楽しい劇でした。生徒の皆さん一人一人の個性や才能を考えると、全員が活躍できるような工夫がされていて、とても素晴らしいと思いました。

王子第二特別支援学校との統合で、平成 31 年度からは新しい東京都立王子特別支援学校として出発されるとお聞きしています。今までの関係を継続しながら、また新たな交流が生まれることを期待しています。今後ともよろしく願いいたします。

「笑顔での交流」

北区立十条富士見中学校

P T A会長 林 秀博

今年度もP T A活動の中の、教養文化の部分で交流を図ることが出来ました。十条富士見中学校での「彩文字講習」、王子特別支援学校での「カルトナージュ作り」に両校の保護者が参加して、可愛らしい作品を作り上げ、それぞれの文化祭で展示しました。私もそれぞれに参加させていただき、皆さんと一緒に和気あいあいと作品を作りました。非常に楽しい一時でした。

隣接する学校でありながら、生徒同士や保護者同士や保護者同士が日常的に交流を持つことはほとんどありません。生徒同士は部活や生徒会の活動を通じて、保護者同士はこのような形で少しずつでも交流を持ち、生徒、保護者に笑顔が増えて行けば地域が明るくなり、安心、安全に繋がっていくと感じております。

また、笑顔があふれる楽しいイベントを企画していきたいと考えておりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

「学校交流を通して」

北区立十条富士見中学校

生徒会役員 小嶋 匠

今年も十条富士見中学校と王子特別支援学校の生徒会で交流をすることができ、とてもうれしく思います。例年、7月には王子特別支援学校での夏祭りにボランティアとして参加させて頂き、今年はストラックアウトを生徒会同士協力し合って行うことができました。大変だったけれど、10月には十条富士見中の文化祭に様々な作品を提供して頂きました。1月には、王子特別支援学校の文化祭に十条富士見中の技術・家庭科・美術の作品と一緒に展示させてもらいました。僕個人としては、11月にバスケットボール部で体育館をお借りして、都大会前日に練習をさせて頂きました。前日に動きやシュートの確認ができて本当に助かりました。

このような交流が毎年続いてできているのも、これまでのお互いの生徒会と先生方の繋がりを大切にしてきたからだと思います。1つのことを大切にしてきたからだと思います。1つのことを成功させるために、同じ中学生の生徒会ではお互いに協力して成功できた時の達成感が、僕達の財産になります。これから先も、この交流の伝説をずっと続けていってほしいです。

交流協力校との交流2

<順天高等学校>

「王子特別支援学校と順天高校との交流について」

順天高等学校

副校長 片倉 敦

順天中学高等学校と王子特別支援学校は、同じ北区に所在し、地域も近く協力校として毎年有意義な交流をしていただいています。順天の文化祭に今年も支援学校の生徒諸君が『革細工作り』で参加してくださり、笑顔で作品販売していただきました。

本校の生徒も7月に行われた王子特別支援学校の『夏祭り』では吹奏楽部の演奏に始まり、バトン部の生徒とともにヨサコイを踊ることができ、模擬店のお手伝いで一緒に楽しむことができました。また、生徒会が中心となって子供たち同士の強い絆づくりも始まり、今後ますます多種多様な交流プログラムが企画されることを期待しております。

本校では毎年多くのボランティアプログラムを生徒達に紹介していますが、この王子特別支援学校との交流プログラムは人気メニューの定番となっています。毎年先輩から後輩へ、その楽しさが伝えられているからだと思います。

交流は両校の生徒たちや先生方の熱い思いと願いが一致していなければできないことです。これからもこのような交流を続けていきたいと思えます。

交流協力校との交流3

＜東京成徳大学＞

「ご近所の同士の身近なお付き合いを」

東京成徳大学
教授 塙 和明

道路を隔てて真向いにあるのは東京成徳大学です。塙がありますので、なかなか敷地内に入る機会がないと思いますが、一言、声をかけていただければいつでもご案内します。

東京成徳では、毎年、学生が夏祭りのボランティアでお世話になっています。7月の暑い盛りですが目と鼻の先にある王子の生徒さんと交流出来るということで張り切って参加しています。数年前までは和太鼓のサークルがあって、いろいろな機会に演技を見てもらっていました。残念なことに、最近は入部希望の学生が少なくなり、ご披露する機会が減ってしまいました。でも、来年度から新しい学部が設置され、別のキャンパスの体育会系の学科も移ってきますので、今までとは違った新たな交流の場が造られるかも知れません。

十条台の学校のお仲間同士、ご近所の親しい関係をさらに築いていければと思います。

今年度も本校PTAでは、地域の学校のPTAや生徒・学生の皆さんと、有意義な交流をさせていただきました。

十条富士見中学校PTAの皆さんとは、互いの講習会に参加して親睦を深め、出来上がった作品を両校の文化祭で展示しました。

放課後活動では、順天中学校の生徒の皆さんが、本校の生徒達に「よっちょれ」を丁寧に教えてくださり、一緒に楽しく踊ることができました。

また、PTA主催の夏祭りでは、模擬店の手伝いや片付けのボランティアとして、順天高等学校・東京成徳大学の生徒・学生さん達が参加してくださり、プログラムの中では順天中学校高等学校の吹奏楽部の皆さんに夏祭りを盛り上げていただきました。

これからも地域の皆さんと交流を深め、互いに高めあえるようなPTA活動をすすめてまいりたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

東京都立王子特別支援学校

〒114-0033 東京都北区十条台1-8-41

電話 03-3909-8777 Fax 03-3909-8665

一般メールボックス：ml-oji-sh@section.metro.tokyo.jp

入学・支援・教育相談関係メールボックス：ml-oji-shien@section.metro.tokyo.jp

ホームページアドレス：<http://www.oji-sh.metro.tokyo.jp/>

公式 Twitter：https://twitter.com/ouji_tokushi